

就労選択支援事業所指定基準別表

ミナミル

別表

(さっぽろ障がい者プランに定める重点取組「事業所の質の向上の取組」)

実施可否欄及び対応可能な障がい種別欄に○印を記入し、本用紙を提出してください

アセスメント 実施手法	具体的な確認内容	実施 可否	対応可能な障がい種別		
			身体	知的	精神
アセスメント実 施計画書	事業所としてアセスメント実施計画書を作成し、それを活用して体系的に記録・判断できる ※アセスメント実施計画書(計画内容、実施方法、評価基準、就労アセスメント表、利用者へ提示するフィードバックの様式を含む)を添付	○	○	○	○
標準化検査	実施方法(ツール、手順など)を以下に記載				
職務(環境・課 題)分析	実施方法(視点、ツール、手順、場面設定など)を以下に記載 ※環境と共に職務の内容や一連の流れ、構造を分析できること(ワークサンプル、模擬的就労場面等と関連付けて実施できること。例えば「就労支援のためのアセスメントシート」における環境の視点を有すること)	○	○	○	○
	所内で提供する作業については、随時企業から受託を受けて実施している。説明時、職員は工程を課題分析し、理解度に合わせて指示の四階層を使い分けている。作業環境は静かに取り組みやすい環境と音楽がかかった環境を用意して集中の程度を確認している。				
ワークサンプル	実施している機器の種別(※)、実績(複数の使用年数・件数)及び具体的な実施・評価方法を以下に記載 ※ワークサンプル幕張版等	○	○	○	○
	ワークサンプル幕張版(ピッキング、OA作業) 令和6年度に購入し、3件ほど実施、今後は就労移行支援の利用者等にも実施予定				
模擬的就労場面	事業所で実施する場合にどのような環境で、どのような就労場面を設定できるか ※マニュアルや実績等の添付、または可能な手法を以下に記載	○	○	○	○
	清掃、軽作業、荷物の運搬等の労務作業 パソコンを使用した営業補助など事務的業務				
職場実習	職場実習の実績があり、必要とされるアセスメントを実施できる(具体的な実績を以下に記載)	○	○	○	○
	これまでは対象者がいる際に企業へ相談し、採用前実習を実施。雇用後に行う予定の業務を実際の時間帯に試行してきた。この他、年に2回ほど、企業現場での梱包作業の実習を行っている。就労選択支援においては事前情報があつた方のうち、就職が概ね可能と見込まれる方の適職検討のために調整する事を想定している。				

※上記6項目中4項目以上の実施が可能であり、かつそれぞれの項目において複数の障がい種別に対応可能であることが必要

※どのようなアセスメントが実施可能なのか利用者に分かりやすく示すこと(例:別表を拡大等して事業所内に掲示、利用者に個別に配布・説明)

※記載欄が不足する場合は欄の追加または別紙の添付可